

DESIGN-R

Depth 深さ 創内の一番深い部分で評価し、改善に伴い創底が浅くなった場合、これと相応の深さとして評価する					
d	0	皮膚損傷・発赤なし	D	3	皮下組織までの損傷
	1	持続する発赤		4	皮下組織を超える損傷
	2	真皮までの損傷		5	関節腔、体腔に至る損傷または、深さ判定が不能の場合
				U	深さ判定が不能の場合
Exudate 浸出液					
e	0	なし	E	6	多量:1日2回のドレッシング交換を要する
	1	少量:毎日のドレッシング交換を要しない			
	3	中等量:1日1回のドレッシング交換を要する			
Size 大きさ 皮膚損傷範囲を測定:【長径(cm)×長径と直交する最大径(cm)】*3					
s	0	皮膚損傷なし	S	15	100以上
	3	4未満			
	6	4以上 16未満			
	8	16以上 36未満			
	9	36以上 64未満			
	12	64以上 100未満			
Inflammation/infection 炎症/感染					
i	0	局所の炎症兆候なし	I	3	局所の明らかな感染徴候あり(炎症兆候、膿、悪臭など)
	1	局所の炎症兆候あり(創周囲の発赤、腫脹、熱感、疼痛)		9	全身的影響あり(発熱など)
Granulation tissue 肉芽組織					
g	0	治癒あるいは創が浅いため肉芽形成の評価ができない	G	4	良性肉芽が、創面の10%以上50%未満を占める
	1	良性肉芽が創面の90%以上を占める		5	良性肉芽が、創面の10%未満を占める
	3	良性肉芽が創面の50%以上90%未満を占める		6	良性肉芽が全く形成されていない
Necrotic tissue 壊死組織 混在している場合は全体的に多い病態をもって評価する					
n	0	壊死組織なし	N	3	柔らかい壊死組織あり
				6	硬く厚い密着した壊死組織あり
Pocket ポケット 毎回同じ体位で、ポケット全周(潰瘍面も含め)【長径(cm)×短径*1(cm)】から潰瘍の大きさを差し引いたもの					
p	0	ポケットなし	P	6	4未満
				9	4以上 16未満
				12	16以上 36未満
				24	36以上

部位 [仙骨部、坐骨部、大転子部、踵骨部、その他]

合計 * 2

* 1 : “短径”とは“長径と直交する最大径”である

* 2 : 深さ(Depth:d.D)の得点は合計には加えない

* 3 : 持続する発赤の場合も皮膚損傷に準じて評価する

日本褥瘡学会/2013 引用